

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL https://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-----|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 81 | 39.9 | △466 | — | △477 | — | △486 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | 58 | △64.1 | △340 | — | △341 | — | △340 | — |

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △475百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △342百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | △29.20 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | △25.10 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | 1,756 | 1,403 | 78.2 | 78.41 |
| 2020年12月期 | 1,806 | 1,526 | 83.2 | 93.85 |

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,374百万円 2020年12月期 1,502百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年12月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 213 | 7.0 | △976 | — | △998 | — | △998 | — | △59.95 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年12月期2Q | 17,529,219株 | 2020年12月期 | 16,008,319株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年12月期2Q | 154株 | 2020年12月期 | 154株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年12月期2Q | 16,648,132株 | 2020年12月期2Q | 13,571,890株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出により、企業収益や雇用環境が大幅に悪化し、景気は厳しい状況にありました。景気の先行きについては、国内におけるワクチン接種が始まったもののワクチン供給の停滞、感染力の強い変異株による感染者数の増加により、さらなる感染拡大の懸念があり引続き予断を許さない状況であります。

当社グループはこのような環境の下、「在宅勤務を常態とする働き方」を推奨し感染拡大防止に努めつつ再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は81,592千円（前年同四半期比23,265千円の増加）、営業損失は466,140千円（前年同四半期比125,418千円の増加）、経常損失は477,366千円（前年同四半期比135,541千円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純損失は486,192千円（前年同四半期比145,499千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、新製品の研究開発及び新市場並びに海外売上拡大による需要増加に対応するため、細胞培養器材の開発・製造施設を新設し、第3四半期以降の稼働を目指しております。また第2四半期累計期間の実績については、器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化及び積極的な販売促進活動をした結果、特に海外売上が好調であり過去最高の売上を達成することが出来ました。また、当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、2020年に引き続き、共同研究先である東海大学より先進医療にかかる自己軟骨細胞シートの製造を受託し、第2四半期連結累計期間には2症例の売上を計上いたしました。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は76,496千円（前年同四半期比19,971千円の増加）、営業損失は19,212千円（前年同四半期比12,839千円の増加）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療等製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生シートパイプラインでは、2025年の製造販売承認申請に向け引き続き追加治験を実施いたしました。また軟骨再生シートパイプラインにおきましては、日本医療研究開発機構（AMED）が公募した補助事業である令和3年度「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業（再生・細胞医療・遺伝子治療産業化促進事業）」に、当社が提案した研究開発課題（同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の製品化に向けたセルバンク構築を含む企業治験開始のための研究開発）が2021年7月に採択されました。

また、海外展開におきましては、2020年1月に当社と台湾の三顧股份有限公司（MetaTech (AP) Inc.）が中心となり出資し設立した台湾の合弁会社（日生細胞生技股份有限公司）において、今後、食道、軟骨以外のパイプライン事業の開発、製造、販売を実施する予定です。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,096千円（前年同四半期比3,294千円の増加）、営業損失は319,150千円（前年同四半期比135,300千円の増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて65,894千円減少し、1,556,293千円となりました。これは主に、現金及び預金が44,716千円減少した一方で、仕掛品が5,999千円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて16,076千円増加し、200,346千円となりました。これは、投資その他の資産が16,076千円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて49,817千円減少し、1,756,640千円となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて72,624千円増加し、192,708千円となりました。これは、未払金が44,200千円、前受金が28,595千円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて72,624千円増加し、352,708千円となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて122,441千円減少し、1,403,931千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失486,192千円を計上した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金が173,871千円、資本剰余金が173,871千円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて133,343千円増加し1,416,150千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は360,335千円（前年同四半期比99,898千円の支出増）となりました。これは主に、未払金の増加額50,429千円、前受金の増加額28,595千円があった一方、税金等調整前四半期純損失484,292千円を計上したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は31,679千円（前年同四半期比26,287千円の支出増）となりました。これは主に、敷金の差入による支出21,767千円、有形固定資産の取得による支出9,911千円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は344,959千円（前年同四半期比139,677千円の収入減）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入344,959千円によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年2月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,460,867 | 1,416,150 |
| 売掛金 | 45,880 | 29,969 |
| 商品及び製品 | 15,304 | 20,115 |
| 仕掛品 | 310 | 6,309 |
| 原材料及び貯蔵品 | 27,097 | 25,268 |
| 前払費用 | 20,783 | 27,275 |
| その他 | 51,944 | 31,203 |
| 流動資産合計 | 1,622,187 | 1,556,293 |
| 固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 184,270 | 200,346 |
| 固定資産合計 | 184,270 | 200,346 |
| 資産合計 | 1,806,457 | 1,756,640 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,765 | 11,200 |
| 未払金 | 41,489 | 85,689 |
| 未払法人税等 | 18,044 | 18,338 |
| 賞与引当金 | 4,808 | 4,518 |
| 前受金 | 28,649 | 57,244 |
| その他 | 22,328 | 15,716 |
| 流動負債合計 | 120,084 | 192,708 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 160,000 | 160,000 |
| 固定負債合計 | 160,000 | 160,000 |
| 負債合計 | 280,084 | 352,708 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,348,286 | 4,522,157 |
| 資本剰余金 | 1,570,083 | 1,743,954 |
| 利益剰余金 | △4,401,491 | △4,887,684 |
| 自己株式 | △227 | △227 |
| 株主資本合計 | 1,516,651 | 1,378,200 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △321 | △321 |
| 為替換算調整勘定 | △13,890 | △3,452 |
| その他の包括利益累計額合計 | △14,211 | △3,774 |
| 新株予約権 | 23,933 | 29,504 |
| 純資産合計 | 1,526,373 | 1,403,931 |
| 負債純資産合計 | 1,806,457 | 1,756,640 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 58,327 | 81,592 |
| 売上原価 | 17,953 | 38,494 |
| 売上総利益 | 40,374 | 43,098 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 181,099 | 319,866 |
| その他 | 199,995 | 189,372 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 381,095 | 509,238 |
| 営業損失(△) | △340,721 | △466,140 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 6 |
| 為替差益 | 334 | 732 |
| 受取手数料 | 204 | 149 |
| 還付加算金 | 47 | 28 |
| その他 | 32 | 20 |
| 営業外収益合計 | 623 | 938 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 492 |
| 持分法による投資損失 | — | 10,230 |
| 新株発行費 | 1,727 | 1,441 |
| 営業外費用合計 | 1,727 | 12,164 |
| 経常損失(△) | △341,825 | △477,366 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 1,737 | — |
| 特別利益合計 | 1,737 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 6,925 |
| 特別損失合計 | — | 6,925 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △340,088 | △484,292 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 605 | 1,900 |
| 法人税等合計 | 605 | 1,900 |
| 四半期純損失(△) | △340,693 | △486,192 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △340,693 | △486,192 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △340,693 | △486,192 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △321 | - |
| 為替換算調整勘定 | △1,389 | 10,437 |
| その他の包括利益合計 | △1,710 | 10,437 |
| 四半期包括利益 | △342,403 | △475,755 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △342,403 | △475,755 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △340,088 | △484,292 |
| 減価償却費 | 4,300 | — |
| 減損損失 | — | 6,925 |
| 受取利息 | △5 | △6 |
| 支払利息 | — | 492 |
| 持分法による投資損益(△は益) | — | 10,230 |
| 株式報酬費用 | — | 7,213 |
| 新株発行費 | 1,727 | 1,441 |
| 新株予約権戻入益 | △1,737 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 39,117 | 15,823 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,878 | △8,981 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 45,170 | 14,341 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4,056 | 6,435 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △2,008 | 50,429 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 55 | 28,595 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △19 | △290 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △6,765 | △4,416 |
| 小計 | △262,432 | △356,057 |
| 利息の受取額 | 4 | 5 |
| 利息の支払額 | — | △483 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 1,990 | △3,800 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △260,436 | △360,335 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,883 | △9,911 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △177 | — |
| 敷金の差入による支出 | △2,330 | △21,767 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,391 | △31,679 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 484,636 | 344,959 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 484,636 | 344,959 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,073 | 2,337 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 217,734 | △44,716 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,065,072 | 1,460,867 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,282,807 | 1,416,150 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ173,871千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,522,157千円、資本剰余金が1,743,954千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------------|----------|--------------|--------------------------------|
| | 再生医療支援 事業 | 細胞シート 再生医療事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 56,524 | 1,802 | 58,327 | — | 58,327 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 56,524 | 1,802 | 58,327 | — | 58,327 |
| セグメント損失(△) | △6,372 | △183,850 | △190,222 | △150,498 | △340,721 |

(注) 1 セグメント損失の調整額△150,498千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------------|----------|--------------|--------------------------------|
| | 再生医療支援 事業 | 細胞シート 再生医療事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 76,496 | 5,096 | 81,592 | — | 81,592 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 76,496 | 5,096 | 81,592 | — | 81,592 |
| セグメント損失(△) | △19,212 | △319,150 | △338,363 | △127,777 | △466,140 |

(注) 1 セグメント損失の調整額△127,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、6,925千円であります。

(重要な後発事象)

(第19回新株予約権の権利行使)

当社が2020年8月6日に発行した第19回新株予約権につき、2021年7月1日から2021年8月10日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第19回新株予約権
- ② 行使価格
1株当たり215～244円
- ③ 行使新株予約権個数
2,302個
- ④ 行使者
パークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)
- ⑤ 交付株式数
230,200株
- ⑥ 行使価額総額
52,750千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
230,200株
- ② 増加する資本金の額
26,499千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は1,460,867千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当第2四半期連結会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。